

調査研究報告書の要約

書名	平成25年度ロボット産業・技術の振興に関する調査研究報告書				
発行機関名	一般社団法人 日本機械工業連合会				
発行年月	平成26年3月	頁数	121頁	判型	A4

[目次]

序 (会長 岡村 正)

はしがき (委員長 浅間 一)

委員会名簿

Summary

目次

第1章 事業目的

- 1.1 調査研究の背景と目的
- 1.2 ロボット大賞 審査・運営委員会の開催

第2章 ロボット産業の現状

- 2.1 ロボット産業の現状
- 2.2 ロボット産業関連施策

第3章 産業用ロボットの技術トレンドと課題

- 3.1 産業用ロボットの技術トレンド
- 3.2 産業用ロボットの技術的課題
- 3.3 安全柵設置条件の見直しとセーフティ・システム・インテグレーション
- 3.4 産業用ロボット市場のグローバル化

第4章 先進ロボット (非産業分野向けロボット) 開発の現状と課題

- 4.1 先進ロボットの開発・普及の動向
- 4.2 これら社会実装にかかる課題
- 4.3 先進ロボットに係るロボット産業関連施策
- 4.4 先進ロボット普及に向けた安全と標準化について

第5章 「ロボット大賞」表彰事業

- 5.1 「ロボット大賞」の実績
- 5.2 「第5回ロボット大賞」の狙いと概要

5.3 「ロボット大賞」の課題と今後の展開について

第6章 まとめ「ロボット大賞」表彰事業の見直し案の提示

6.1 次回「第6回ロボット大賞」に向けての見直し案

6.2 次回「第6回ロボット大賞」に向けての提言

参考文献・媒体一覧

[要 約]

本報告は、我が国のロボット産業・技術の振興に向けて、現在の市場や技術動向をまとめ、課題を調査・分析したものである。

第1章では、本調査研究事業の背景と目的を明確にした。

第2章では、ロボット産業の現状について、国内市場と海外市場を比較し、ロボットメーカーおよび関連企業のアンケートをもとに今後の市場展開について言及した。

第3章では、産業用ロボットの技術トレンドと課題について取り上げたほか、安全柵設置条件の見直しとセーフティシステムインテグレーションについて言及した。

第4章では、先進ロボット開発の現状と課題について取り上げ、介護福祉ロボットや災害対応ロボットなどの動向についてまとめた。また、先進ロボット普及に向けた安全と標準化についてロボット大賞審査・運営委員会での議論を中心に記載した。

第5章では、「ロボット大賞」表彰事業の実績についてまとめたほか、今後の表彰事業のあり方を示した。

第6章では、ロボット大賞審査・運営委員会での検討内容を踏まえて、次回「第6回ロボット大賞」に向けての見直し案と提言を行った。



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

この報告書は、競輪の補助金により作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

